

一枚、長一丈七寸、料漆二合二勺、掃墨一合、功少半人、幕。桁一枚、長一丈三尺五分、柱二枚、各長九尺、料漆七合、掃墨五合、功一人。

〔大饗雜事〕一酒部所

二丈幄一字、首書、康和記、黑漆骨、纈纈、覆、蘇芳綱、東西行立、之、久安、西中門南廊、東砌立、酒部所、帷、東西妻、

柱九本、棟一支、桁二支、梁二支、杭十二、槌一支、鐵布久志一柄、覆一帖、十二幅

綱八筋、大小

〔吾妻鏡〕七、文治三年八月廿八日丙申、閑院遷幸料樂屋、アヲホヒ帷并御誦經幄、覆以下、十月中可染進仙洞之由、被仰美濃權守親能之許云云、

輕幄

〔代始和抄〕御禊行幸事

大嘗會行れんとての十月に此事あり、略長官次官以下をの、幄の座につきて事を行ふ、略

これより國司檢非違使等に仰て、汚穢不淨を戒め、牛馬の闌入をとめしむ、其後幄處分といふ事あり、諸司の著べき輕幄等をうたる、也、

〔延喜式〕五、齋宮、初齋院裝束

輕幄一具

〔任希古七夕臨泛昆明池詩〕長林代輕幄、細草即芳筵、

〔延喜式〕十、內匠、輕幄骨一具、料漆七升、絹五尺、綿二屯半、掃墨二升、燒土二升、青砥一枚、炭一斛、單功卅人、

〔延喜式〕三十、大藏、凡在省紺幄十一字、五丈紺幄八字、紺輕幄七宇、布幔百廿四條、皆收別倉、隨事供設、若有破壞者申官縫換、但故弊者任充公用、

〔儀式〕二、踐祚大嘗祭儀

天皇即位之年、略中先禊一日、略中設輕幄爲進物所、略中次掃部寮官人左右各一人、與騎陣相當、胡床水